

・物価高騰対策事業商品券について

・所信表明について



新風新政会
いまい としひろ
今井 敏博



詳しい内容は
こちら

物価高騰は市民生活、市内事業者に深刻な影響を与えています。市が実施する商品券事業は生活者への直接的な支援と地域経済の活性化という重要な側面を持っており、本事業を円滑かつ実効性のあるものとするためには、市民がいつ、どのように、どこで、利用できるのかという情報を正確かつ迅速に届ける必要があります。配布の対象、金額の根拠を明確に示すことが重要です。そこで配布時期、周知方法、対象者の基準、利用可能な店舗の拡大に向けた取り組みなど具体的な実施方法について市民目線に立って質問しました。

次に、本市は磯部温泉や秋間梅林といった豊かな観光資源、そして国指定史跡や世界遺産への登録を目指

す歴史的遺産など、誇るべき宝が数多く存在します。しかし、これらを単に「守る」だけでなく、次世代へとつなぎ本市の魅力としていかに「磨き上げる」かが今、問われています。観光資源の現状課題をどう認識し、どのような中期ビジョンで戦略を立てるのか。また行政主導に留まらず地域住民や事業者といかに連携し機運を醸成していくのか。特に史跡の維持管理における現状の課題解決や、インバウンドを意識した多言語対応、さらには軽井沢町など近隣自治体との広域連携による観光ルートの構築など、本市の魅力を最大化するための具体的な施策と決意について質問しました。

・子どもを性犯罪から守る生命の安全教育[※]について

・ヤングケアラー支援について

近年、SNS やオンラインゲームなどを通じて子どもたちが性犯罪や性被害に巻き込まれる事案が全国的に増加しています。子どもを、被害者にも、加害者にも、させないためには、学校における生命の安全教育の充実が重要であります。そこで、本市における生命の安全教育について、実施状況や今後の充実についてなど質問しました。

次に、家族の介護や世話などを日常的に担うヤングケアラーをめぐることは、本市では、2024年3月に、安中市ヤングケアラー支援条例を制定し支援の方向性を明確にしました。条例理念を実効性ある支援につ

なげ、ヤングケアラーが孤立することなく、安心して学び成長できる環境整備の充実が重要であります。そこで、条例制定から2年が経過しましたが、これまでの実態把握や、実際にどのような支援につながっているのか、また今後の支援体制の充実についてなどを質問しました。



生命(いのち)の安全教育について
出典：文部科学省ホームページ
(https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index2.html)



公明党
ながしま ようこ
長嶋 陽子



詳しい内容は
こちら

※生命の安全教育 …子どもたちが性暴力の被害者、加害者、傍観者にならないために国が推進している教育プログラム。